

手続きのながれ③で準備する必要書類

- ① 【全員】 確認書（同意書）
- ② 【該当者】 成績に関する書類
- ③ 【全員】 学生本人名義の銀行口座の通帳コピー
- ④ 【全員】 収入状況欄・収入計算欄
- ⑤ 【該当者】 収入に関する証明書類
- ⑥ 【該当者】 Ⅲ.特別控除に関する証明書類
- ⑦ 【全員】 スカラネット入力下書き用紙 【貸与奨学金のみ申込み用】
- ⑬ 【該当者】 在留資格及び在留期間が明記されている証明書
- ⑭ 【該当者】 施設等在籍証明書等

※書類番号は「手続きのながれ」に記載の必要書類の番号と連動

⑦

【全員】スカラネット入力下書き用紙



すべて記入してください。

記入方法を、抜粋して次のページから説明します。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 1 ページ目

※下書き用紙に表示している内容は印刷用紙と異なる場合があります。

2020年度
スカラネット入力下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】
(大学・短期大学・専修学校専門課程)

独立行政法人
日本学生支援機構
JASUD Japan Student Services Organization

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。
在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方の申込みを希望する場合は、給付奨学金案内に組み込まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与併用申込み）用】」を使用してください。

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「奨学金を希望する皆さんへ」【取
下「奨学金案内」】を熟読し、申込内容を保護者（親権者又は未成年後見人）と相談して決めてください。
「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認した
上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了する
と、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管して
ください。印刷用紙を作成していただくには、印刷用紙をダウンロードしていただく必要があります。

氏名	学歴番号	学部・学科・分野

交付番号

交付番号	交付年月	交付額	返済開始年月	返済期間	返済額

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】
以下の点は、必ず手元に用意してください。
- 学校から受け取った連絡簿（ユーザーIDとパスワード）
- 奨学金申込口帳（本人名義）の連絡帳などのコピー（お申し込み用紙【15】ページに張り付けてください）
- マイナンバー届出書（保証費用・保証費用の申込みが免除）

← こちらだけ記入

⑦ スカラネット入力下書き用紙 2 ページ目

奨学金学種 (学校) の選択
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。 **大学** ▼

課程：大学の場合の表示例

<奨学金学種 (学校) の選択>
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。 **大学** ▼

申込み奨学金 (1) , (2) または (3) を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用 (1次又は2次)

- 現在在学している大学での奨学金を申込みことができます。
家計急変が生じたことにより、給付奨学金を申し込む場合は、こちらを選択してください。

(2) 緊急採用・応急採用 (貸与奨学金のみ)

- 過去1年以内に生計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込みことができます。
学校で申込資格を確認してください。家計急変が生じたことにより、給付奨学金を申し込む場合は、「(1) 定期採用 (1次又は2次)」を選択してください。

(3) 第二種奨学金 (短期留学)

- 国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留学する人は申込みことができます。
現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込の条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。

課程を選択してください。

課程を選択すると、申込み奨学金を選択する画面が表示されます。
※この「下書き用紙」及び「奨学金案内」では、(1) 又は (2) を選択した場合について説明していません。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 2 ページ目

手続きのながれ④で受け取る「マイナンバー提出書」に印字されているIDとパスワードを記入しますので、今は未記入で結構です。

マイナンバー提出書情報

「マイナンバー提出書」に印字されている申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。

注1) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

注2) 「マイナンバー提出書」についての注意事項

- ◆奨学金の申込みには、あなたとあなたの生計維持者(原則父母)のマイナンバーの届出が必要です。
- ◆「マイナンバー提出書」の提出先は学校ではありません。指定の送付先(日本学生支援機構)へあなたから直接送付してください。
- ◆この申込入力が完了した後は、「マイナンバー提出書」に必要事項を記入し必要な証明書類とあわせて、専用封筒を使って速やかに(この申込入力後1週間以内に)送付(提出)してください。

申込ID

パスワード

※マイナンバー提出書の見本を表示します

定期採用の申込者だけがこの設問について入力します(緊急採用・応急採用の申込者は、採用後にマイナンバーを提出するためこの設問は表示されません)。
パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。
入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見て確認できるよう、最初に申込ID欄を入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。
なお、あなたのマイナンバー(個人番号)そのものはスカラネットには入力しません。この「下書き用紙」にもマイナンバー提出書に印字されている申込IDとパスワードだけを記入し、あなたのマイナンバー(個人番号)そのものは決して記入しないようにしてください。

2020年度の定期採用で使用するマイナンバー提出書に印字されている申込IDは「2020」で始まる10桁の英数字です。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 3 ページ目

B-誓約欄
 日本学生支援機構理事長 殿
 私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 令和 年 月 日
(半角数字)

記入

生年月日 (和暦) (半角数字) 年 月 日生

姓 名
 氏名 (全角漢字)
5文字以内 5文字以内
 氏名 (全角カナ)
15文字以内 15文字以内

生年月日の入力を選択すると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

	和暦	西暦	和暦	西暦	
	5	1993	10	1998	
	6	1994	11	1999	
平成	7	1995	平成	12	2000

あなたが在学している学校が確認大学等 (給付奨学金対象校) である場合は、給付奨学金の内容を含んだ画面が表示されます。

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準とし、成年判定を行います。

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。名前が長い場合は、入るところまで入力してください。(「奨学金案内」39ページ「文字入力」参照)

外字は使用しないでください。
 (例) 言→古、画→画、新→祐
 漢字氏名には「を」「ヲ」ともに入力できますが、カナ氏名に「ヲ」は入力できません。カナ氏名には代わりに「オ」と入力してください。
 (例) 漢字氏名
 カナ氏名

姓・名欄ともに、「スペース」は入力しないでください (ミドルネームは)

国籍
 日本国籍 日本国籍以外
 国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。
 来国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の申請書類を学校へ提出する必要があります。
 来在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間 (満了日) の入力は不要です。

在留資格

在留期間 (満了日) 西暦 (半角数字4桁) 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ

誓約日は以後訂正することができません。

カナ氏名は、振込口座の名義人氏名と同一であることが必要です。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

外国籍の人は奨学金案内6ページの表のとおり在留資格に制限があります。必ず在留資格を在留カード等で確認してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等及び定住者の人は、在留期間 (満了日) を入力してください。在留資格が法定特別永住者又は永住者の場合は、在留期間 (満了日) の

国籍を2択で選択し、日本国籍以外の場合は在留資格情報を記入

⑦ スカラネット入力下書き用紙 3 ページ目

**1 1点の選択肢の中から
1点だけを選択します。**

2/8

C-奨学金申込情報

1. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

○(1) 第一種奨学金のみ希望します。

○(2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。

○(3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

○(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。

○(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。

○(6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。

○(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

○(8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。

○(9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。

○(10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

○(11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

上記 (8)、(9)、(10)、(11) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

(半角数字) (例:)

【(10)又は(11)を選択する人へ】

①既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中の人、予約採用者、又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでさらにもう一方の奨学金を申し込み、併用貸与を希望する場合は(10)又は(11)を選択してください。予約採用又は大学への編入学による継続貸与の奨学生番号(620又は820から始まる奨学生番号)が未決定の場合、奨学生番号欄は入力不要です。

なお、併用貸与を受ける場合は併用貸与の学力基準(奨学金案内)9ページ参照)及び家計基準(収入・所得の目安は6ページ参照)を満たす必要があります。

②希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与を受けている奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望する場合は、学校担当者へ申し出てください。

(例)現在第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望している。
併用貸与が不採用だった場合は、第二種奨学金への変更を希望している。

在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)である場合は、**C-奨学金申込情報**の「2.貸与奨学金を希望しますか。」で「希望します」を選択すると表示されます。

「奨学金案内」27～28ページの解説内容をよく確認し、希望する1つを選択してください。

【既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予定)の予約採用者又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人へ】
今回の申込みでもう一方の奨学金を申し込み、奨学金の種類変更(第二種→第一種へ、又は第一種→第二種へ)を希望する場合は、以下のように入力してください。
○奨学生番号(620又は820から始まる奨学生番号)が決定している場合
→(8)又は(9)を選択し、下の奨学生番号欄に決定した奨学生番号を入力する。
○奨学生番号(620又は820から始まる奨学生番号)が未決定の場合
→(a)の(1)又は(3)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当者へ申し出る。

(8)(9)を選択した人は奨学生番号を必ず入力してください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 4 ページ目

D-あなたの在学情報

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。

日本大学

(1) ×× 大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)

学生番号

(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3)

芸術学部 ▼

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。

(4) いいえ 専攻科 別科

(5) 学年を記入してください。

(5) (半角数字) **1** ~ **4** 学年

(6) 昼夜課程を選択してください。

(6) 昼(昼夜開講含む) 夜 通年スクーリング 昼間スクーリング

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

(4) 専修学校は、「あなたは、上級学科に在学していますか。」という設問が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 下記に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。編入の場合は編入した学年を入力してください。

⑦ スカラネット入力下書き用紙 4 ページ目

**①～③該当するものを選択し
入学年月等を記入**

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

○①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月： 西暦(半角数字4桁) 年 月

○②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください。)
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

○③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください。)

【1回目の編入学】
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月
→2回目の学校へ編入学又は転学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

【2回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月
→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：
西暦(半角数字4桁) 年 月

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
(8) 西暦(半角数字4桁) 年 月卒業

(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 年 か月

(例)
○2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
○3年次編入→3学年

(6) 通学課程の学生は「昼(昼夜開講含む)」又は「夜」を選択してください。

(7) ①～③から該当する1つを選択してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。
なお、高等専門学校からの編入学又は転学の場合、前の学校の入学年月は高等専門学校の4年次進級年月を入力してください。

(例)
2018年4月にA短期大学に入学。2020年3月にA短期大学卒業後、2020年4月に日大学の3年次に編入学

- ・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月
: 2018年4月(A短期大学の入学年月)
- ・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月
: 2020年3月(A短期大学の卒業年月)
- ・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月
: 2020年4月(B大学へ編入学した年月)

1年生 2024年3月
2年生 2023年3月
3年生 2022年3月
4年生 2021年3月

人は、
ます。
た学校
た学校

⑦ スカラネット入力下書き用紙 5 ページ目

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、2020年4月時点（秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は2020年10月時点）で通学しているキャンパスの住所を選択してください。自動表示されない場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

日芸のキャンパスの住所を記入

⑦ スカラネット入力下書き用紙 5 ページ目

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学している場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。
 ※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとを離れて通学する場合は、学校までの通学距離・時間等に関わらず「自宅外通学」を選択し、下記設問にて④及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「施設等・里親等のもとを離れて生活している」旨を入力してください。
 ※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合は、生計維持者(原則父母)と別居しており、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)の提出が必要です。

どちらかを選択 ➡ 自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きます。
 「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全てを選択してください。
 いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択し直してください。

①実家(生計維持者いずれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
 ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
 ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
 ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1週間当たり1本以下
 ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。
 支障が生じる 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

(郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)(全角文字)

ください。
 「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降、番地等が重複しないように入力してください。
 ※[8]ページの「住所の入力例」参照。

2020年4月時点(秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は2020年10月時点)での状況
 「自宅外通学」を選択した場合は、入力が必要になります。2020年4月時点(秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は2020年10月時点)から現在までお住まいの住所を入力してください。
 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
 ・郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
 ※[8]ページの「住所の入力例」参照

「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択した場合は、入力不要です(ボタンを押すことはできません)。

「自宅外通学」を選択した場合は入力が必要になります。2020年4月時点(秋以降に募集があり奨学金を申し込む場合は2020年10月時点)から現在までお住まいの住所を入力してください。
 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
 ・郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
 ※[8]ページの「住所の入力例」参照

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)(全角文字)

は、給付奨学金の対象外のため入力する必要は

**この記載は誤り
 次ページの文章と
 差し替えてください。**

**自宅外通学を
 選択した人は
 該当するもの
 全てを選択**

自宅外通学の住所を記入

⑦ スカラネット入力下書き用紙 5 ページ目の訂正

正

2020年4月時点（秋以降に募集があり奨学金を
申し込む場合は2020年10月時点）での状況に基づ
き選択してください。

自宅外通学とは、あなたが生計維持者のもとを
離れて生活し、かつ あなた本人に係る家賃が
発生している状態のことをいいます。また、

「自宅外通学」の月額を選択する場合、（II）
の①～⑤いずれかの要件に該当する必要があります。
いずれにも該当しない場合は「自宅通学
（またはこれに準ずる）」を選択してください。

ただし、社会的養護を必要とする人で児童養護
施設等から離れて生活しており、居住に係る家
賃が発生している人については、※2つ目の記
述にしたがってください。

誤

2020年4月時点（秋以降に募集があり奨学金
を申し込む場合は2020年10月時点）での状況
に基づき選択してください。

自宅外通学とは、あなたが生計維持者のもと
を離れて生活し、かつ あなた本人の居住に
係る家賃が発生している状態のことをいいま
す。また、「自宅外通学」の月額を選択する
場合、（11）の①～⑤いずれかの要件に該当
する必要があります。いずれにも該当しない
場合は「自宅通学（またはこれに準ずる）」
を選択してください。

ただし、社会的養護を必要とする人で児童養
護施設等から離れて生活しており、居住に係
る家賃が発生している人については、※2つ
目の記述にしたがってください。